



今年から2月23日が「^{てんのうたんじょうひ}天皇誕生日」になったが、「^{ふじさん}富士山の日」でもあるんじゃよ!

2(ふ) 2(じ) 3(さん) だからだね!
富士山の高さは、3(み) 7(な) 7(な) 6(ろつ) だね!



「富士山の日」とは

2月23日は、^{やまなしけん}山梨県、^{しずおかけん}静岡県などが定めた『富士山の日』です。令和2年から天皇誕生日（祝日）と重なるため学校などもお休みです。

「富士山の高さ（標高）」は

日本一の山として多くの人に知られている富士山ですが、その高さ（標高）は、どのようにして求めたのでしょうか。古くから多くの人によって高さが測られてきましたが、現在の標高3,776mと決まったのは、大正15年（1926）のことです。国土地理院の前身である^{りくちそくりょうぶ}陸地測量部が、^{ふもと}水準原点から麓の三角点まで水準測量、そして、麓の三角点から富士山頂の三角点へは高低角を測って間接的に高さを求めました。

参考：[ことばのミニ辞典第13回「標高と海拔」](#)

[2019年企画展「高さってなんだろう？」富士山の標高はこうして決めた！](#)

富士山頂の北側に「^{ふじはくさん}富士白山」、南西側の^{けんがみね}剣ヶ峯に「富士山」と、二つの二等三角点があります。また、剣ヶ峯には、人工衛星からの電波を常時受信している電子基準点「富士山」も設置されています。

今年の夏は、ぜひ、富士山に登り、日本一高いところにある三角点と電子基準点をご覧になってはいかがでしょうか。



富士山頂付近の地図

- 上○ 二等三角点 富士白山
- 下○ 二等三角点 富士山
- 電子基準点 富士山



富士山



二等三角点「富士山」（右）



電子基準点「富士山」

(測地部)